

PFSに関するSAC提言

2011.1.19 すばるUM

すばる小委員会

委員長 有本信雄

次世代装置として広視野撮像・分光装置を併せもつことは、すばるが今後も世界の第一線で成果を出し続けるための強力な武器になると思われる。

またPFSは当初BAO探査のために計画されたが、その後の検討を経て、銀河考古学、銀河進化研究等、サイエンスの幅が拡がりつつある。

このためSACはすばるの次世代装置としてPFS計画を推進することを以下の条件付きで推奨する。

(付帯条件)

- 1 装置はコミュニティが納得する仕様を実現すること
- 2 計画推進強化のために、日本人マネジャーを中心とした国内体制を確立すること
- 3 SACの代表が今後の国際協力交渉の重要な局面に参加すること
- 4 人材育成の観点から若い人を装置開発に参加させる枠組みを作ること

なお議論の前提として下記に留意してほしい。

- ・装置完成後の国際プロジェクト観測は、戦略枠の枠組みの中で実施する。
- ・戦略枠開始と同時に、一般ユーザーも共同利用公募によってPFSを使用できることを保証する。